

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る中間評価結果

領域番号	6005	領域略称名	クラスター階層
研究領域名	量子クラスターで読み解く物質の階層構造		
領域代表者名 (所属等)	中村 隆司 (東京工業大学・理学院・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの進展が認められる)

(評価結果の所見)

本研究領域は、クォークから分子に至る物質のマイクロなスケールに存在する階層構造に着目し、各階層の間に表れる多彩なクラスターに共通する普遍的な現象や法則を見だし、物質の階層構造の起源に迫る新しい融合分野の創成を目指す研究である。

階層構造をつなぐ原理を統一的に理解しようとする挑戦的かつ興味深いテーマであり、これまでに個々の計画研究において様々な新奇な知見を創出していると認められる。一部には顕著な研究成果も見られ、全体として領域運営は順調であると言える。

一方で、本研究領域が目指す「各物質階層を超えて有機的に結び付ける」という段階には至っておらず、広範な階層を貫く普遍性やセミ階層といった概念を追究するための戦略は現段階では明確ではない。領域代表者並びに総括班の強いガバナンスの下で、本来の目的について研究領域内で共通した目的意識を確立し、連携を加速させる方策が望まれる。後半では、新学術領域研究として分野間の連携による新たな学理の創成に期待する。